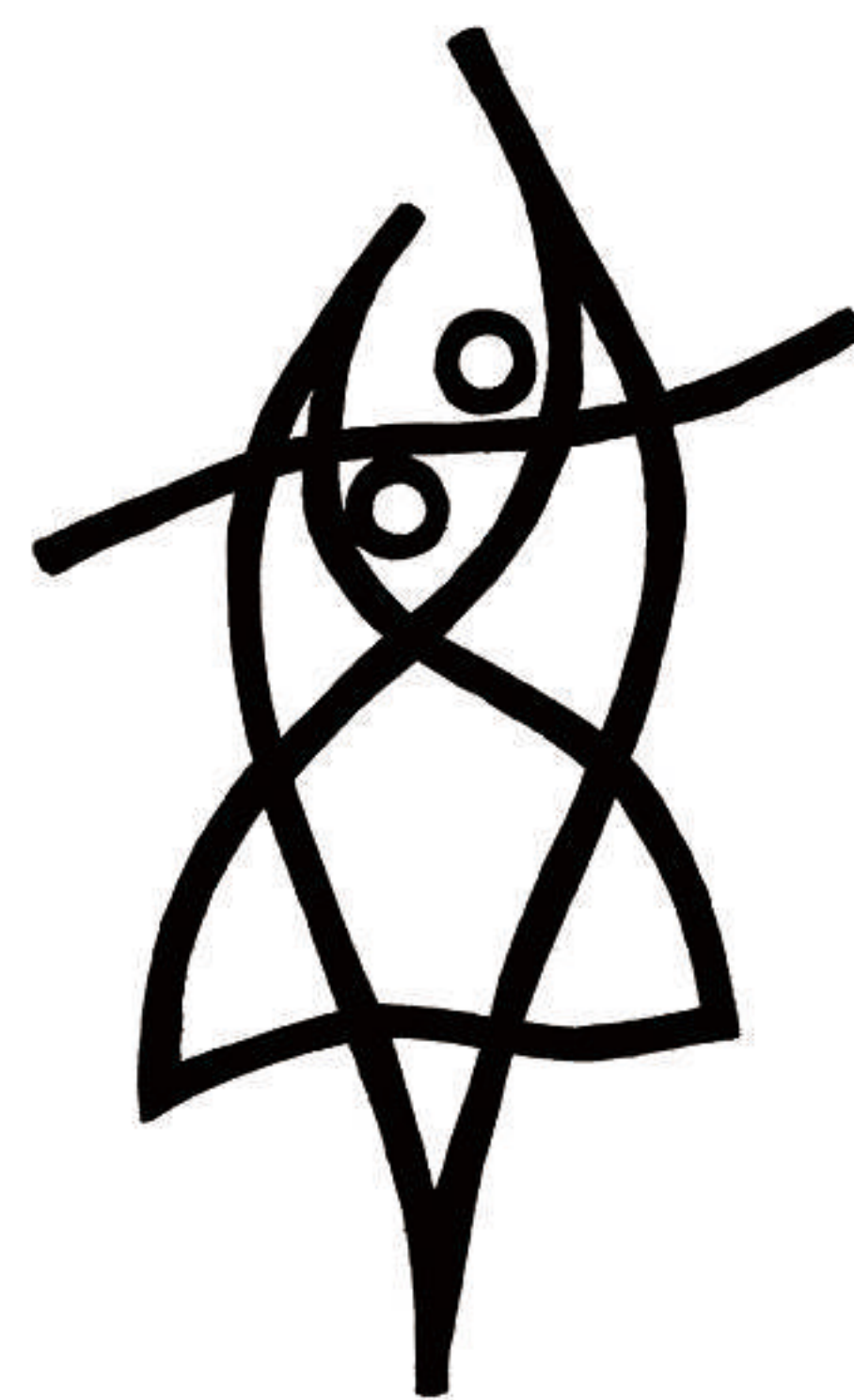


News

SAITAMA

DANCE ASSOCIATION



No. 60

一般社団法人
埼玉県舞踊協会
ニュース第60号
2025.10.5



©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会

ごあいさつ

(一社)埼玉県舞踊協会 会長 上原尚美

酷暑を乗り越え、少しずつ秋めいてまいりました。皆様ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

令和7年は、第57回埼玉全国舞踊コンクールが皆様のご協力のもと、無事に開催されました。連日の暑さにもかかわらず、出場者の皆様には体調不良などもなく、また審査員、スタッフ、協会の先生方には多大なご尽力をいただきまして、深く感謝申し上げます。

今年度は、10月12日(日)に「宮代町コミュニティセンター進修館」大ホールにて、コレオグラファーの目 Vol.21「浦しま子と海の友達」が開催されます。松元夢子の書下ろし脚本、映像と舞踊と演劇を織り交ぜた斬新な試みになっております。常に進化し続ける「コレオグラファーの目」の新しい試みを、ぜひともご高覧ください。

令和8年1月18日(日)には、彩の国さいたま芸術劇場にてダンスセッションが2回公演で開催されます。インドの作家アシュリー・ロボ氏の新作モダンダンス作品と、松崎すみ子・松崎えり振付によるクラシックバレエ作品「不思議の国のアリス」の完成度の高い深く充実した2作品を、重厚な劇場空間でご堪能いただけます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

P.2 第57回埼玉全国舞踊コンクール 2025

P.7 第75回全国植樹祭

コレオグラファーの目 Vol.21「浦しま子と海の友達」

P.8 ダンスセッション 2026 開催!

協会からのお知らせ / お問い合わせ / 編集後記

発行所 一般社団法人埼玉県舞踊協会

発行者 上原 尚美

〒330-0056

埼玉県さいたま市浦和区東仲町1-16 鳥昇ビル3階

TEL 048-882-7530 FAX 048-882-7549



第 57 回埼玉全国舞踊コンクール 2025

7/25 ～ 7/30 バレエシューズ部門・クラシックバレエ部門・創作舞踊部門
8/3 ～ 8/8 トライ部門・モダンダンス部門

主催 (一社) 埼玉県舞踊協会 会場 埼玉会館大ホール
後援 埼玉県、埼玉県議会、埼玉県教育委員会、(一社) 埼玉県文化団体連合会、朝日新聞さいたま総局、埼玉新聞社、東京新聞さいたま支局、毎日新聞さいたま支局、読売新聞さいたま支局、テレビ埼玉、チャコット(株)、一般社団法人現代舞踊協会、(公社) 日本バレエ協会、(公財) 橘秋子記念財団、(公財) 埼玉県芸術文化振興財団



創作舞踊部門

外部審査員 批評家 うらわまこと / 池野恵 舞台衣裳家 武田晴子
舞踊家 高橋裕子

審査員講評 創作舞踊部門 『それぞれに見所、興味が』 うらわまこと

本年度の創作舞踊部門、決選進出は 11 曲。創作とは、まず作品コンセプト、それに合わせて音楽、出演者、美術などを決め、それらを振付によりまとめ上げ、それをまたリハーサルをとうして具現するという極めて高度な創造作業です。お金も時間も大変。それを考えると、現今の厳しい状況下では、予選から 12 曲の参加は、皆さんよく頑張ったといってもよいと思います。

全体としてもなかなか充実していました。ここで充実とは、作品の意図とその実現のための工夫、動きのレベルと練り上げ度、そして作品の個性、あるいはこだわり度などについて、見所、興味のあるものが多かったということです。

これらのなかでその多くを備えていたのが 1 位の「My sea」(宗宮悠子作品)。海のもつ大きさ、深さ、そしてその生命力ともいえる神秘的魅力を夜光虫とも漁り火ともみえる灯を加え、15 人の出演者で完成度高く表現しました。それに対して「マリアが出ていかない」(松元日奈子)は、5 位ながら個性という点では抜群。低重心の日本型ポストモダンともいえる同門のスタイルをさらに徹底した 3 人が、自由奔放に触れ合い、対峙。突如赤旗なども登場、無計算の計算、わが道を行くという潔さが強く心に残ります。

この 2 作の間にデュエット作品 3 つ。水晶のような玉など小道具を駆使した占いを感じさせる「子宮をおよぐ」(小松崎結友)、杵を使い実体と写像を往復、光と影、調和と不調和を行き来する「解離する記憶」(高階朱乃、高橋あかね)、歯切れのよい 2 人の動きと光の組み合わせで空間を動かし、深みある軌跡を描く「elsewhere」(沼田志歩)。それぞれに動きと各要素が複雑に工夫されて、よく踊り込んでいます。ただ、動きやアイディアの貯蓄が多いためか饒舌になりやすく、必要なものだけを選び出す作業が求められます。その点で、ソロの赤坂衣織作品、デュエットのノセタナカ作品はミニマルなコンセプト、逆にもう少し取り込んだほうがアピール力が増したかもしれません。



🌟 第 1 位 宗宮悠子 作「My sea」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県舞踊協会賞 副賞 / 埼玉県知事賞 / (公財) 橘秋子記念財団賞

この度は創作舞踊部門第一位という大変光栄な賞をいただき、心より感謝申し上げます。本作品は、壮大な海を心の鏡にこれまでの歩みを映し出すことをテーマに、ダンサーと共に思いを重ねながら創り上げてまいりました。奇しくも決選の日には日本各地で津波警報が発令され、海を題材とすることの重さを胸に舞台に立ちました。そのような中での今回の受賞は、これからも一つひとつの出会いや経験を大切に、丁寧に作品創作に励んでいかなければならないと改めて感じ、そして励みとなりました。最後に温かなご指導をくださった金井桃枝先生、富士奈津子先生、そして応援してくださる流通経済大学の皆様、審査員・主催の先生方に心より御礼申し上げます。

出演 小澤早嬉 阪本佳奈 小松崎万由 高塚祐希 青笹玲那 阪本英理 稲澤成実 土田葵咲 生方芽 洪舒義 沖本真季
土屋富美 坪根和奏 洪羅義 野口紬



@ 上野 能孝 / STAFF TES

← 第 2 位 小松崎結友 作
「子宮をおよぐ」
埼玉県舞踊協会賞
埼玉県教育委員会教育長賞
出演 小松崎結友 石橋慶大

第 3 位 高階朱乃 高橋あかね →
作・出演「解離する記憶」
埼玉県舞踊協会賞
埼玉芸術文化祭実行委員会会長賞



以下上位入賞

埼玉県舞踊協会奨励賞

埼玉芸術文化祭実行委員会奨励賞

第 4 位 沼田志歩作「elsewhere」

第 5 位 松元日奈子作「マリアが出ていかない」

第 6 位 赤坂衣織作「零落する葉脈」

クラシックバレエ部門

外部審査員 批評家 上野房子 (1 部) / 呉宮百合香 (ジュニア部) / 川島京子 (2 部)
舞踊家 安達哲治 / 佐藤崇有貴 / 下村由理恵 / 早川恵美子 (3 部門共通・50 音順)

● 1 部 (成人)

審査員講評 クラシックバレエ部門 1 部 (成人) 上野房子

クラシックバレエ部門 1 部の対象年齢は、高校 3 年生以上、つまり、プロフェッショナルなバレエ団に入団可能な年代です。従って、出場者をプロダンサー候補者と位置づけて審査に臨みました (コンクール規約ではなく、わたし個人の基準です)。

コンクールで踊られるヴァリエーションは、おおむね全幕作品で主役ないしソリストが踊る重要な見せ場です。踊り方によっては作品全体の出来栄えを損ないかねない大役ですから、役柄にふさわしい演技なり表情を伴っているのか、あるいは物語の一端を担う踊りになっているのか等、定められた振付を踊るだけでは体現できない、その出場者なりの踊り方を吟味しました。

それゆえ、『ジゼル』第 1 幕のヴァリエーションで、そこにはいない恋人アルブレヒトや村人たちの気配を感じられた時、あるいは金平糖の精が『くるみ割り人形』のお菓子の国の女王にふさわしい威厳を見せてくれた時には嬉しくなります。

今回、気がかりだったこともありまして。

一つ目は、足音が大きめだった出場者が、例年より多かったことです。フロアの状態がふだんの稽古場と異なったとしても、足音が客席まで響かないよう、足裏の使い方にあと少しの注意をはらって欲しいと思いました。

二つ目は、ヴァリエーションの選択です。本コンクールでは課題作を定めていませんから、出場者は任意のヴァリエーションを選べます。とはいえ、今回、20 世紀に作曲された音楽を用いて、定番にはなっていない振付で踊った例がありました。作品の完成度に差異があり、他の出場者と同条件で審査することは難しく、プラス材料にはなりませんでした。

ともあれ、一定水準を満たした 19 人の出場者が決選に出場しました。出場者ならびに出場者をサポートした指導者・家族の皆さん、コンクールを主催した埼玉県舞踊協会の会員諸氏に敬意を評します。近い将来、プロダンサーとして羽ばたいている出場者と再会できることを祈念しています。



第 3 位の 1 藤井くるみ
「エスメラルダの Va」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



🏆 第 1 位 加藤千佳「オディールの Va」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県舞踊協会賞 副賞 / 埼玉県知事賞
(公財) 橘秋子記念財団賞 / (公社) 日本バレエ協会賞

このような歴史あるコンクールにおいて 1 位という評価をいただき、大変光栄に思っております。これまでの努力をこのような形で評価していただいたことに大きな感動を覚えております。ご指導くださる先生方、支えてくださった家族や仲間のおかげでこのような賞を受賞することができました。今回踊ったオディールのバリエーションでは、強さの中に品格と自然な表現を込めることを意識いたしました。今後も感謝の気持ちを忘れず、観てくださる方の心に残る踊りを目指して精進してまいります。

@ 上野 能孝 / STAFF TES

第 3 位の 2 赤野芹奈
「ジゼルの Va」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 3 位の 3 横地満奈
「金平糖の Va」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 2 位の 1 山崎宇詩 「オーロラ 2 幕の Va」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県議会議長賞



第 2 位の 2 小森世楽 「パキータより Va」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県教育委員会教育長賞



以下上位入賞

朝日新聞社賞 尾関華「ジゼルより Va」
埼玉新聞社賞 兵藤杏「騎兵隊の休止より Va」
テレビ埼玉賞 高橋爽帆「金平糖の Va」
東京新聞賞 本田萌「フローラの目覚めより Va」
毎日新聞社賞 田中心香「パキータより Va」
読売新聞社賞 岩本紗季「オーロラ 2 幕の Va」
チャコット賞 村上有優実「パキータより Va」

●ジュニア部

審査員講評 クラシックバレエ部門ジュニア部 呉宮 百合香

ジュニア部決選では、中学 2 年生から高校 2 年生、まさに伸び盛りの 62 組が熱演を披露しました。まずは、この日に向けて厳しい鍛錬を積み重ねてきた出場者の皆様に心から敬意を表します。

プロを志すこの年代のダンサーにとって最も重要なのは、あらゆる表現の下地となる基礎力です。指先や足先への神経の行き届き方、関節の繋がり、胴体の角度、正確なポジション運び。これら細部が一つでも疎かになると、観客の集中が途切れ、意識が現実に戻されてしまいます。特に上体の表情づくりは、大きな課題と感じました。回転や跳躍を見せる際は下半身に力が集まりやすいですが、実際には首筋から肩、腕に至るまでのラインこそがバレエの美を決定づけます。「そのパが何を語り、どのような理想を体現しているか」に意識を向け、全体の調和を整えることで、一層の技術的洗練が見込めるでしょう。

選曲については、『フローラの目覚め』『サタネラ』『ワルプルギスの夜』『タリスマン』など、日本では作品全編を観る機会が少ない演目が多く選ばれていた点が印象的でした。ただ、古典の定番曲に比べると、これらは高度な応用力と個性を要するため、基礎を固めている段階のダンサーには必ずしも適しません。指導にあたる先生方には、その点もご考慮いただきたく思います。

コンクールで踊られるのはバリエーション 1 曲のみですが、その曲は常に作品全体の中にあります。舞台美術や前後の場面がなくても、身ひとつの表現だけで作品世界を立ち上げる力がプロには求められます。だからこそ、バリエーションだけを観るのではなく、作品の背景を知り、可能なかぎり全編も生で鑑賞することをお勧めします。その日々の積み重ねが、皆様の踊りを豊かに深めていく糧となるはずです。

上位入賞者はいずれも、丁寧で確かな技術の上に表現への意志を宿し、数年後の踊りを見たいと思わせる魅力を備えていました。今後の飛躍を大いに期待しています。



第 3 位の 1 都木結衣奈
「パキータより Va」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



🏆 第 1 位 菊地麗「ライモンダより Va」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県知事賞 / (公財) 橘秋子記念財団賞 / 津田郁子賞
(公社) 日本バレエ協会賞

この度、第 1 位という評価をいただきとても嬉しいです。歴史あるこのコンクールでこのような賞をいただき、毎日たくさん指導して下さった先生方にとっても感謝しています。このヴァリエーションを踊る上で、音楽と物語の場面に合う踊り方、表現のつけ方を意識しましたが、細かい部分の足捌きなど課題も見つかりました。これからはこの賞を糧にし、もっと細かい部分まで目を向け練習をし良い踊りで舞台上に立てるように頑張っていきたいです。ありがとうございました。

@ 根本 浩太郎 / STAFF TES

第 3 位の 2 上阪友香
「エスメラルダの Va」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 3 位の 3 中村桃子
「ジゼルの Va」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 2 位の 1 塚本花梨 「フローラの目覚めより Va」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県議会議長賞



第 2 位の 2 衛藤朋美 「オーロラ 3 幕の Va」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県教育委員会教育長賞



朝日新聞社賞 前迫咲良「ドルシネアの Va」
埼玉新聞社賞 安海舞耶「ワルプルギスの夜より Va」
テレビ埼玉賞 笠井優夏「騎兵隊の休止より Va」
東京新聞賞 高橋柚羽「エスメラルダの Va」
毎日新聞社賞 近野愛月「エスメラルダの Va」
読売新聞社賞 大沢太尊「バジルの Va」
チャコット賞 笹岡采莉「ナポリより Va」

埼玉県舞踊協会奨励賞

福政志麻 千葉めぐみ 南部白帆 上田こゝろ 権田みなみ
長谷川環 伊藤万葉 千葉夏葵 茂木咲来 岩崎以登美

第 57 回埼玉全国舞踊コンクール

● 2 部（児童）

審査員講評 クラシックバレエ部門 2 部（児童） 川島京子

クラシックバレエ部門 2 部決選の審査を担当させていただきました。小学 4 年生から中学 1 年生という若い世代のダンサーたちでありながら、埼玉全国舞踊コンクールにふさわしい水準の高さを示す決選となりました。決選進出者は 60 名。年齢が低い分、体格や基礎の習熟度に幅が見られましたが、それぞれの持ち味を生かした魅力ある舞踊が披露されました。

中には、プロに迫るほどの美しいポーズや鮮やかなテクニックを披露する参加者もあり、その可能性には驚かされました。しかしその一方で、パとパの繋ぎ、アームス、プレパレーション、歩き方・走り方への意識の甘さが見られ、全体の印象を損なうケースも散見されました。舞台上の身体の一瞬一瞬、どの角度から切り取っても基礎に忠実であること、そこからすべての美しさが生まれることを、よく心に刻んでほしいと思います。また終盤で集中力や精度が揺らいでしまい、作品全体の完成度が損なわれてしまった残念なケースもありました。最後まで実力を発揮して踊り切る体力や精神力も、鍛えていく必要があると感じました。

今回感心したのは、テクニック以前に踊る心をもっているダンサーが多かったことです。バレエは基礎訓練が第一であることは言うまでもありませんが、それだけでは観客の心を動かす踊りにはなりません。物語や役柄、場面、感情を丁寧に分析し「主体的に」表現することが大事です。その際には、自身の表現や感情が観客、ひいては会場全体に伝わっているかを意識してみてください。観客席の後方から自分を見つめる「もう一つの目」を持つことで、踊りが大きくなると思います。

特にこの時期におけるコンクールの意義は、高い成績を取めることよりも、自身の課題を見つけることにあります。その課題を克服するために努力を重ねることで真の成果が得られることと思います。道のりは長いですが、地道な努力を重ねて素晴らしい踊り手となることを、心より期待しています。



🏆 第 1 位 浅田良舞「エスメラルダより男性 Va」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県知事賞 / (公財) 橘秋子記念財団賞
津田郁子賞 / (公社) 日本バレエ協会賞

今回一位を頂けてとても嬉しく光栄に思います。受賞を聞いた時はとても驚きましたが目標にしていたので嬉しかったです。練習してきた成果を舞台で出し切ることができて、最高の結果を頂けて心から感謝しております。歴史ある埼玉全国舞踊コンクールで賞を頂き、僕自身の自信にもなりましたし、益々頑張っていく必要があります。そしてまた埼玉県舞踊協会の先生方や審査員の先生方に上達した姿をお見せできるように努力します。ありがとうございました。

@ 中岡 良敬 / STAFF TES

第 2 位の 1 於保かなさ 「アルレキナーダの Va」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県議会議長賞



第 2 位の 2 竹内杏 「サタネラの Va」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県教育委員会教育長賞



第 3 位の 1 枝田悠志 「白鳥の王子の Va」

埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 3 位の 2 若林花芽 「アルレキナーダの Va」

埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 3 位の 3 高橋海羽 「スワニルダ 3 幕の Va」

埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



朝日新聞社賞 白井愛理沙「リースの Va」

埼玉新聞社賞 山田陽和子「アルレキナーダの Va」

テレビ埼玉賞 山村美鈴「パキータより Va」

東京新聞賞 川島衣織「パキータより Va」

毎日新聞社賞 新井優花「サタネラの Va」

読売新聞社賞 大久保陽望「オーロラ 1 幕の Va」

チャコット賞 金杉麻以「人形の精 Va」

埼玉県舞踊協会奨励賞

穂刈彩乃 森田玲 清水陽輝 為井蓮 酒井智季

米山佳那 濱口美空 中川彩良 飯塚秋桜乃 及川颯大

モダンダンス部門

外部審査員 批評家 児玉初穂（1 部） / 高橋森彦（ジュニア部） / 村山久美子（2 部）
舞踊家 川野眞子 / 田保知里 / 松永雅彦 / 山口華子 (3 部門共通・50 音順)

● 1 部（成人）

審査員講評 モダンダンス部門 1 部（成人） 児玉初穂

〈モダンダンス部門 1 部〉47 名の審査を終えて、まず思ったのは、出場者それぞれに世界観があること、美意識が明確であるということだった。選曲、衣裳、動きの質、構成が考え抜かれ、各々の個性が発揮されている。18 歳以上、大人の部らしい、多彩で高レベルな作品群を見ることができた。

第 1 位の金森みずほさん『何もきこえない』を始め、第 2 位の 1 井上萌美さん『朔の貌 満ちれば虧く』、同 2 の岩永明希さん『108 desires』、第 3 位の 3 横井伽歩さん『告白』は、高い技術に工夫を凝らした構成演出で、モダンダンスの王道を行く作品だった。第 3 位の 1 高橋あかねさん『白に零ちていく蝙蝠が』はしっとりとした大人の味わい、同 2 の青笹玲那さん『わすれられないおくりもの』は今現在の自分が投影されている。

朝日新聞社賞の内海夏鈴さん『渇き』は、思考がそのまま動きになった作品。何にも還元されない固有の踊りで、強固な「自分」が確立されている。また東京新聞賞の渡邊瑠莉さん『彼方に』は、独特な動きの呼吸に、武術の痕跡が感じられた。ダンサーその人そのものの個性としては、テレビ埼玉賞の有水梓さん『こぼれ落ちゆく砂の記憶』、読売新聞社賞の板橋玲奈さん『魂が解ける、海月のように』が強烈だった。有水さんのねっとりとしたタフな踊り、板橋さんのゆらゆらと揺れるくらげのような透明感が印象深い。

埼玉県舞踊協会奨励賞では、長嶋綾南さん『開かれた空に』の少年ばい清潔感、不破有彩さん『ヨルガオ 薄幸の罪』の音楽性、選外では、原菜々子さん『劫火のあとに』の感情と思考が渾然一体となった踊り、大竹美友さん『極寒に耐え』の優雅さ、安井志織さん『雪に消える鶴』の古風な味わいが、印象に残った。

自分の語彙で踊るか、モダンダンスの伝統的語彙を使うかを問わず、動きにその人の思考の跡が見えることに、ダンスを見る喜びがあると改めて思った。





第 3 位の 1 高橋あかね
「白に零ちていく蝙蝠が」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



🏆 第 1 位 金森みずほ「何もきこえない」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県舞踊協会賞 副賞 / 埼玉県知事賞
(公財) 橘秋子記念財団賞 / (一社) 現代舞踊協会賞

この度は第一位という名誉ある賞を頂けて大変嬉しく思います。
埼玉全国舞踊コンクールで第一位を頂く夢を長年追い続けて参りました。そして夢が叶い、周りの方々への感謝の気持ちでいっぱいになりました。ここがゴールではなく新たな出発点としてまだまだ精進して参りたいと思います。最後にコンクールを開催してくださった関係者の皆様、審査員の先生方ありがとうございました。またいつも支え応援してくれる家族とマヤバレエスタジオの方々、師の原島マヤ先生に感謝し、まだまだ進み続ける姿をお見せしたいと思います。

@ 上野 能孝 / STAFF TES

第 3 位の 2 青笹玲那
「わすれられないおくりもの」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 3 位の 3 横井伽歩
「告白」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 2 位の 1 井上萌美
「朔の貌 満ちれば虧く」
埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県議会議長賞



第 2 位の 2 岩永明希
「108 desires」
埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県教育委員会教育長賞



朝日新聞社賞 内海夏鈴「渴き」
埼玉新聞社賞 近藤みどり「震える魂」
テレビ埼玉賞 有水梓「こぼれ落ちゆく砂の記憶」
東京新聞賞 渡邊瑠莉「彼方に」
毎日新聞社賞 田代瞳奈「降りそそぐ悲しみ」
読売新聞社賞 板橋玲奈「魂が溶ける、海月のように」
チャコット賞 沖田麻桜「Sign- 手に宿る記憶」
埼玉県舞踊協会奨励賞
阪本英理 松本梨緒 浮亀美有 安藤萌子 酒井のぞみ
高塚祐希 舟越璃乃 長嶋綾南 天野真希 不破有彩

●ジュニア部

審査員講評 モダンダンス部門ジュニア部 高橋森彦

モダンダンス ジュニア部決選の審査をつとめたのは 2015 年、2021 年、2023 年について四度目です。上位の皆さんや記憶に残る踊りをされた方のなかには、現代舞踊の新進芸術家として飛躍したり、海外で活躍されたりする方も少なくありません。そうした方々が大きくなり、舞台を通して再会できるのは得難いよろこびです。

今回も熱戦でした。中学 1 年生から高校 3 年生までと年齢に幅があり、おとな顔負けの表現力の高い演技から童心を残した愛らしさが光る踊りまでさまざまです。基礎の習熟を踏まえたうえでの心技体いずれもが充実した踊りにも出会えました。

中高生時代は成長期でしょう。踊りも日々進化していくはず。それと同時に、いかに練習を重ね本番を迎えても、緊張やちょっとしたアクシデントで力を思う存分に出せないかもしれません。もちろん順位は結果としてうけとめなければいけません、プロセスをどう活かすか。ありきたりの言い方ではありますが、そこにつぎるのはないでしょうか。

全体の印象について。フィジカルが強く、回転や跳躍に秀でた方も少なくありません。ただし、技を技としてみせる流れが続くと、選曲や主題に工夫があっても、ただ要素をこなしているようにみえてしまいます。そうではなく、踊り手の息づかいからかもし出される表現があいまって踊りになるのではないのでしょうか。上位に入る曲は、やはりそのあたりが抜けていると感じます。さらにいえば、まだ若い踊り手であっても、しっかりと個性がうかびあがればなお素敵。自分の呼吸で踊ることが大切だと思います。

出場者方々の努力、指導の先生方の熱心な研究に頭が下がります。ご父兄のご理解についても同じです。皆で心をひとつにして物を創りあげる尊さ。ただし、そうできるのも、平和だからこそ。そのありがたみを感じて日々舞踊と向き合っていきたいところです。



第 3 位の 1 稲垣ゆい果
「居間に香る」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



🏆 第 1 位 門脇璃子「啼けない鳥」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県知事賞 / (公財) 橘秋子記念財団賞 / 津田郁子賞
(一社) 現代舞踊協会賞

この度は、歴史あるコンクールで第一位という身に余る賞をいただき、大変嬉しく光栄に思います。ご指導くださった先生方をはじめ、日々支えてくださる方々に心より感謝申し上げます。「啼きたいのに啼けない」苦しみや悲痛、自身の内側で渦巻く葛藤を、三分という束の間に全身全霊をかけて踊りきりました。失敗を恐れず、限界の先まで挑んだつもりです。無難に終わらせるのではなく、むぎ出しの表現で人の心を動かせられる魅力あるダンサーを志し、これからも感謝の心と初心を忘れず、精進してまいります。

@ 根本 浩太郎 / STAFF TES

第 3 位の 2 土屋富美
「嘘つきはよく喋る」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 3 位の 3 土屋美波
「平凡にして非凡なる日常」
埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 2 位の 1 近藤花音
「その手の先に」
埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県議会議長賞



第 2 位の 2 菊地陽日
「心の波紋」
埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県教育委員会教育長賞



朝日新聞社賞 チャプリンスカモモ「今日の花を摘む」
埼玉新聞社賞 吉川しずく「sanctuary ー地底の雫」
テレビ埼玉賞 沖本真季「異界へのとばぐち」
東京新聞賞 一色美桜「白であること」
毎日新聞社賞 藤堂あさひ「北帰行」
読売新聞社賞 藤田珠里「凍る泉を溶かす愛」
チャコット賞 中村汐里「いちきゅうよんご いのちのたすき 一九四五～命の櫛～」
埼玉県舞踊協会奨励賞
平野稟佳 齋藤美琴 藤堂ひかる 池内せり 北原怜奈
栗原愛心 高橋咲希 山口莉愛 安藤希月 高野莉咲

第 57 回埼玉全国舞踊コンクール

● 2 部

審査員講評 モダンダンス部門 2 部（児童） 村山久美子

小学生の部門決選を拝見するといつも思いますが、ほぼ全員が驚くほどに背中が柔らかく、アラベスクもアラスゴンドも、非常に高く脚が上がりますね。しかも、身体の軸がしっかりしていて、足裏で強力に床をつかむ力があるので、脚を上げてのバランスも、ほぼ全員がゆるぎない。先生方の鍛え方のすばらしさに、心底感心いたします。このような身体能力は、年齢が上がると、柔軟性などは少々変わるとはいえ、将来、どのようなダンスやスポーツをするにしても、大きな武器になるものです。

ただ、舞踊コンクールの場合に関して言えば、上記のような能力を武器として生かすことは大切であるとはいえ、大部分の出場者が、規定演技のように、高々と上げるアラスゴンド、アラベスク・パンシェ、ブリッジのような後転を並べるのは、あまり感心しません。審査員は、規定演技のようにそのすべてを並べることは、望んでいないのです。作品の流れで、必要に応じて、そのような能力をアピールしてくださることを望んでいます。

今年以前より魅力を感じたのは、その規程演技のようなポーズの連続を見せる作品だけでなく、音楽をしっかりと表現している作品、静止のポーズを見せるだけでなく、「音楽的にリズムカルに踊る」ということに主眼点を置いた作品が増えていることです。とても大事なことです。

ただ、そこに力点を置くことで、動きの一つひとつをきちんと「表現する」ことを軽んじると、表現の浅さがマイナスになっている作品もありました。

今年は、衣裳が、多様性があって、数々チャーミングなものがあったことも特筆したいです。

最後に、以前も書いたのですが、先生が自分の表現したいことを生徒に託すことはあまりよくありません。生徒の表現能力を最大限に生かした作品が、最も魅力的になると思われます。



🏆 第 1 位 西奥麻夏「追憶の旋律」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県知事賞 / (公財) 橋秋子記念財団賞 / 津田郁子賞 / (一社) 現代舞踊協会賞

この度は第一位という身に余る賞をいただき、さらにたくさんの素晴らしい賞をありがとうございます。ご指導くださった田中真紀先生、振付とご指導をくださったたけだ朱里先生をはじめ、応援し支えてくださった皆様に心から感謝しています。今作品「追憶の旋律」は表現が難しく、振り付けを自分のものにし、どこまで魅せられるかを日々研究しました。まだまだ課題はありますが、自分が音を奏できるように踊れるよう、今後も努力を続けていきます。

@ 本橋 亜弓 / STAFF TES

第 2 位の 1 山本彩葉 「森が泣いている ...」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県議会議長賞



第 2 位の 2 金谷美空 「セイレーン - 盲目の人魚」

埼玉県舞踊協会賞 / 埼玉県教育委員会教育長賞



第 3 位の 1 渡邊紗優美 「奇跡ーほじめていく心ー」

埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 3 位の 2 大崎櫻子 「あんまりあなたが好きなので」

埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



第 3 位の 3 船生そら 「本堂の蜘蛛」

埼玉県舞踊協会賞
(一社) 埼玉県文化団体連合会会長



朝日新聞社賞 高橋莉凜「蒼き空に描く詩」

埼玉新聞社賞 津田彩那「月の涙が溢れる刻に」

テレビ埼玉賞 柴田芽依「月の旅」

東京新聞賞 板谷美咲「黄金の魚」

毎日新聞社賞 加藤結雪「渡り鳥、ツバメ」

読売新聞社賞 麻井里真「この野道、いつか花が」

チャコット賞 江れな「金木犀 - 月に咲く」

埼玉県舞踊協会奨励賞

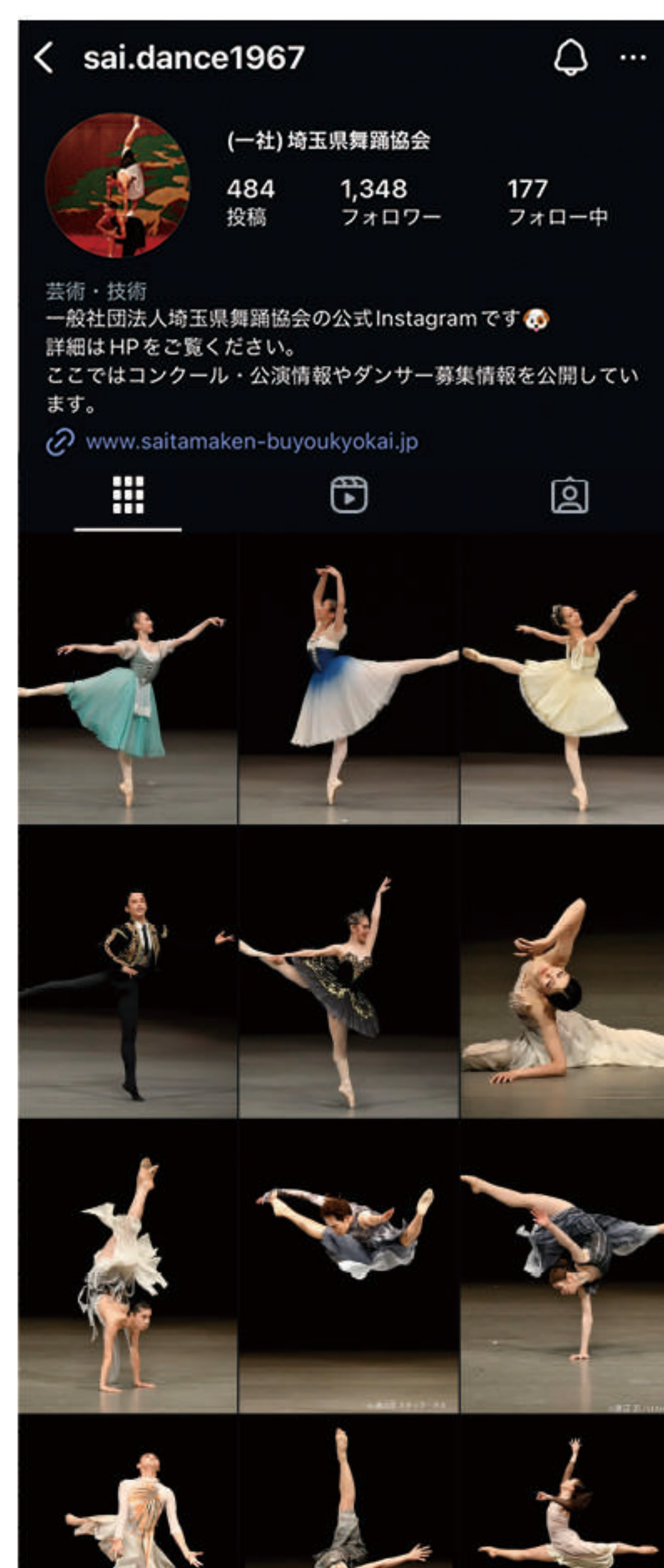
阿部心美 相羽芽衣 間宮佳蓮 川合紗杷子 長谷川環

広理絵麻 菊地陽有 小山紗希羽 永瀬怜 丹野碧音



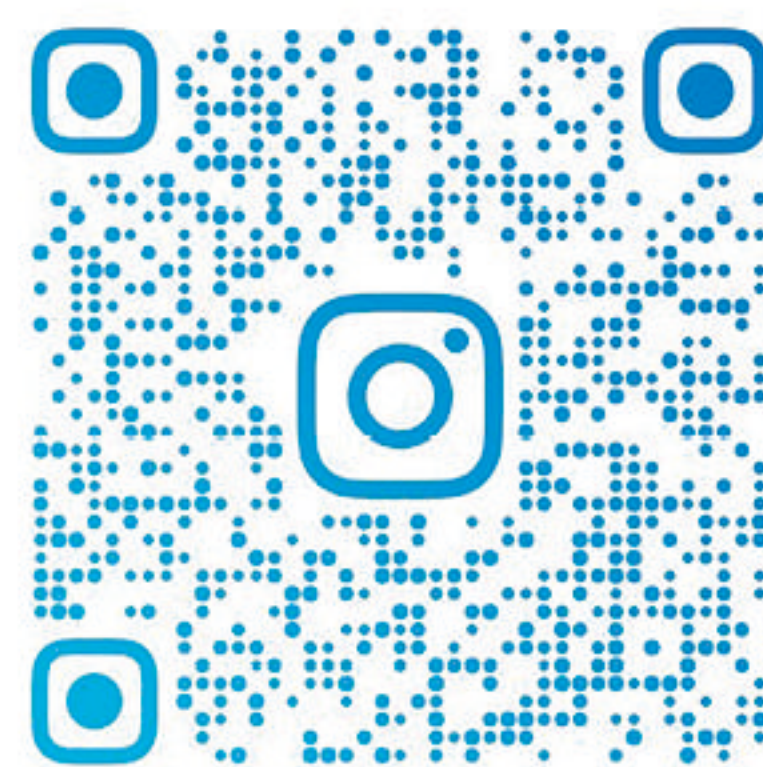
第 57 回埼玉全国舞踊コンクールへご
出場頂きましたみなさま、ご指導の先生方
やご関係者のみなさまへ厚く御礼
申し上げます。今年も酷暑の中の開催
となりましたが、全日程を無事終了する
ことができました。

第 58 回も開催日程が決まり、みなさま
をお迎えする準備を全力で整えて参
ります。たくさんのダンサーの通過点
として構えて参りました歴史あるこの
コンクールは、引き続き来年もみなさま
をお待ちしております！



Instagram のご紹介

(一社) 埼玉県舞踊協会公
式インスタグラムでは、
チャコット賞以上の全受
賞者の写真を掲載してい
ます。協会主催の公演、
ダンサー募集情報も更新。
そちらも併せてご覧くだ
さい♪



@SAI.DANCE1967



第75回全国植樹祭に参加

令和7年5月25日(日) 会場：秩父ミュージックパーク
主催：公益社団法人国土緑化推進機構 埼玉県

天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き、参加者による記念植樹や、大会テーマ（人・森・川 つなげ未来へ 彩の国）を表現する様々なアトラクションの披露などが行われました。

埼玉県舞踊協会は、窪内絹子、原島マヤ、文月玲、峯章子各先生方のスタジオから46名のダンサーにご出演いただき、大変好評を博しました。

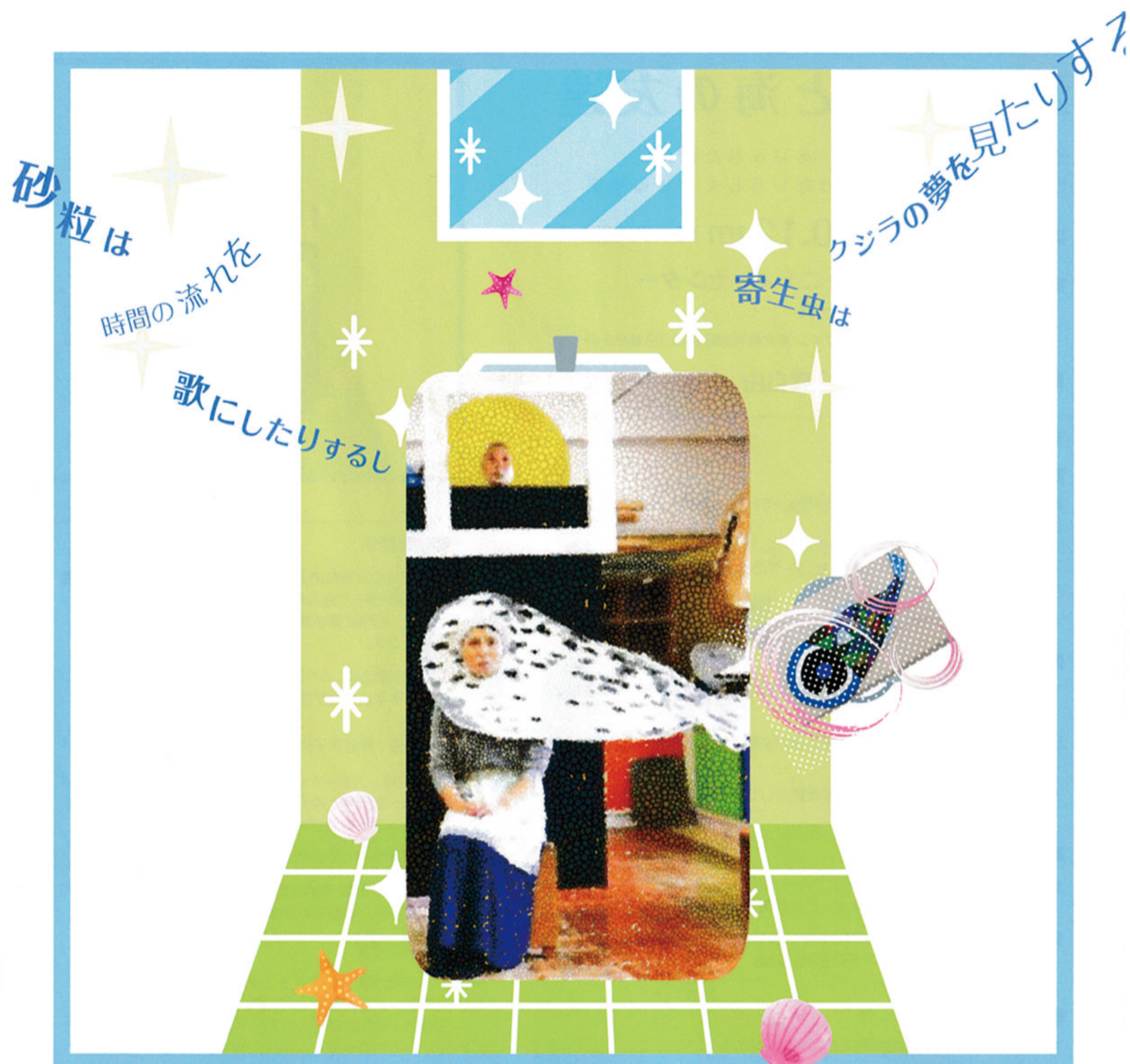


天皇陛下がご臨席された全国植樹祭は、雨の予報をよそに太陽が秩父の山々を明るく照らし、とても感動的な光景となりました。普段の舞台では味わえない緊張感の中で貴重な経験をさせていただき、県庁やスタッフの皆さんのご尽力も間近に感じることができました。また、他のスタジオの皆さんとも交流でき、楽しい思い出が増えました。このような素晴らしい機会をいただき、本当にありがとうございました。 窪内絹子

私の家は天皇家に縁があり、良い機会を頂き感謝しています。観客出演者五千人と大勢のSP、関係者の中での式典。現地リハで、うちの子の列に、太鼓の台が破るアクシデント。翌日現地採寸し位置取りを変更、猛練習。前日夜の豪雨、楽屋テントの地面等、ブルーシートだらけの本番でした。一度も雨が無いと言う電通の方の言葉通り、恙無く晴天盛会に終わりました。子供達にも唯一無二の経験有り難う御座いました。 峯章子

5/25(日) 秩父ミュージックパークにて全国植樹祭に参加させていただきました。埼玉県舞踊協会からは4団体、それぞれのスタジオでユーチューブから振付の確認をして合同練習は3回のみ。さすがに舞踊協会のスタジオの生徒は飲み込みが早く、合同練習での突然の変更にも問題無く対応しておりました。天気も心配でしたが、本番の間は太陽が顔を出して、さすが天皇陛下は天照大御神の子孫なのだと感動いたしました。素晴らしい国民行事に参加させていただき感謝申し上げます。ありがとうございました。 文月玲

輝く未来へ豊かな森林を作る為、天皇陛下のお手植えやお手播きの意味を知り、私達一人一人が木材を積極的に利用していく活樹の重要性を改めて痛感しました。そして全国植樹祭に参加させて頂き、美しい秩父の山々に囲まれ、晴れ渡る空の下、天皇陛下並びに沢山の観客の皆様が見守る中、伸びやかに清々しくパフォーマンスが出来た事、大変嬉しく、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。 原島マヤ



コレオグラファーの目vol.21

浦しま子と海の友達

プラスチックの網に絡まった亀を助けて竜宮城に招かれた浦しま子。
楽しい竜宮城から高校受験を控える人間界へ戻ることを決意し・・・

■日時

2025年10月12日[日] 15:00 開演 (14:30 開場)

■会場

宮代町コミュニティセンター進修館大ホール
〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1丁目1-1
東部スカイツリーライン 東武動物公園駅西口徒歩5分

■チケット

2,500円 全自由席 (下記QRから予約できます)
※当日受付にて代金と引き換えにチケットをお渡し (現金のみ)
※3歳以下のお子様はひざ上鑑賞無料

■脚本

松元夢子 (劇団東京乾電池所属/ビック★ザッパーズ共同主宰)

■出演者

高城愛菜 佐藤優子 北野友華 金森みずほ 栗原愛心
江積志織 カワムラアツノリ 松元日奈子 加藤玲美
四方美碧 尾島瀬里 小林亜季 中丸莉々子 正田夢歩
岩崎華子 齋藤灯 中川芽衣子 武安陽菜乃 吉澤希
小澤実花子 野口陽飛 渡部明香里 宮崎凧 飯山ありさ
白川由季乃 吉川実希 山田桜子 寺川結翔 白川小雪
佐藤陽奈乃 中野鈴菜 坂上紬 青木和心 本多花
草間一知花

■スタッフ

映像製作：工藤史皓 音響：渋谷正巳

舞台全般：佐藤智子/「コレオグラファーの目」実行委員会

■主催

(一社) 埼玉県舞踊協会

■企画・制作・お問い合わせ

「コレオグラファーの目」実行委員会

藤井香 原島マヤ すゞきさよこ

文月玲 上田仁美 江積志織

e-mail: saidance_work@yahoo.co.jp



予約はこちら



ダンスセッション 2026



ダンスセッションは、国際的に活躍する振付家を招聘して、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団（彩の国さいたま芸術劇場）との提携により埼玉県舞踊協会が、総力を挙げて開催している公演です。

アシュリー・ロボ（Ashley Lobo）による新作モダンダンス作品、松崎すみ子・松崎えりによるクラシックバレエ作品「不思議の国のアリス」のダブルビルに、オーディションによって選ばれたダンサー総勢約 80 名が出演！



アシュリー・ロボ / Ashley Lobo
(モダンダンス作品)



松崎えり
(クラシックバレエ作品)

ARTS COUNCIL SAITAMA

- 日時 2026 年 1 月 18 日（日）13：00/17：00 の 2 回公演
- 会場 彩の国さいたま芸術劇場大ホール
(JR 埼京線 与野本町駅より徒歩 7 分)
- チケット 〈料金〉 自由席 5500 円 / プレミアム指定席 8000 円
〈発売日〉 2025 年 10 月 20 日予定
〈取扱い〉 (一社) 埼玉県舞踊協会 / 彩の国さいたま芸術劇場
- 主催 一般社団法人埼玉県舞踊協会
- 提携 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
(彩の国さいたま芸術劇場)
- 助成 アーツカウンシルさいたま文化芸術都市創造助成事業
- 担当理事 窪内絹子 青木りえ 木村美佳 佐藤良寛 谷乃梨絵
藤井 香 文月 玲 山本教子

歴史ある、世界に羽ばたくコンクール 第 58 回埼玉全国舞踊コンクール 2026

主催：(一社) 埼玉県舞踊協会 協賛：埼玉県芸術文化祭 2026 (申請予定)
会場：埼玉会館大ホール (JR 浦和駅より徒歩 5 分)

◇日程

- 7/26(日) バレエシューズ部門
クラシックバレエ部門 1 部・創作舞踊部門 予選
- 7/27(月) クラシックバレエ部門 2 部 予選
- 7/28(火) クラシックバレエ部門ジュニア部 予選
- 7/29(水) クラシックバレエ部門 2 部・ジュニア部 決選
- 7/30(木) クラシックバレエ部門 1 部・創作舞踊部門 決選
表彰式
- 8/3(月) モダンダンス部門 1 部・2 部 予選
- 8/4(火) モダンダンス部門 2 部・ジュニア部 予選
- 8/5(水) モダンダンス部門ジュニア部 予選
- 8/6(木) モダンダンス部門 2 部 決選
- 8/7(金) モダンダンス部門ジュニア部 決選
- 8/8(土) トライ部門・モダンダンス部門 1 部 決選・表彰式

※日程は変更になる場合があります。

◇申込 2026 年 4 月 11 日(土)12:00～20 日(月)16:00

※定員になり次第締切

マイページより受付 (協会 HP をご覧ください)

ダンスを愛するみなさまを多様な部門でお迎えします！

伸びゆく埼玉の子どもたちによる

第 58 回バレエ・モダンダンスフェスティバル

2026 年 3 月 1 日(日) 埼玉会館大ホール

舞踊協会会員の各研究所・教室の児童を中心とした合同発表会。

他スタジオとの競演発表で、研究しあって向上を

図ることを目的に実施しています。

また、今紙面でもご紹介した第 57 回埼玉全国舞踊コンクールの

各部門 2 部・ジュニア部の上位それぞれ 3 名による

上位入賞者披露も行います。

皆様のご来場をお待ちしております！

協会員からのお知らせとご案内

○文月玲バレエスタジオ第三回おさらい会

日時：2025 年 11 月 23 日(日)14:30 開演 (入場無料)

会場：熊谷市文化センター文化会館

連絡先：048-527-5445 (文月玲)

○第 36 回マヤバレエスタジオ発表会

日時：2025 年 11 月 30 日(日)15:30 開演 (入場無料・要予約)

会場：クレアこうのす 大ホール

連絡先：mybstudio.life@gmail.com またはホームページから要予約

一般社団法人 埼玉県舞踊協会

◇ホームページ

<https://www.saitamaken-buyoukyokai.jp>

◇Eメール saitama-dance@blue.ocn.ne.jp

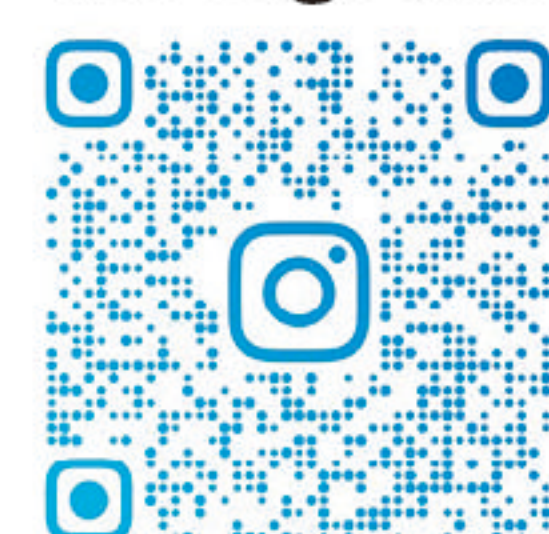
○お知らせ

・次回第 61 号 (2026 年 4 月発行) の
「協会員からのお知らせとご案内」への掲載
は 2026 年 5 月～2026 年 10 月のイベント
が対象となります。申込締切は 2 月末日と致
しますのでお早めに広報までお知らせください。

ホームページ



Instagram



@SAI.DANCE1967

編集後記

一般社団法人埼玉県舞踊協会ニュース第 60 号を発行いたします。今夏のコンクール期間は、驚くような酷暑の日々でしたが、皆様のご協力のもと無事に終了いたしました。秋には「コレオグラファーの目 vol.21」、年明けには「Dance Session 2026」の公演も控えております。引き続き協会員をはじめ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

広報部：山本教子 藤井 香 弓削多淳子 矢島 茜